KAKUDAI

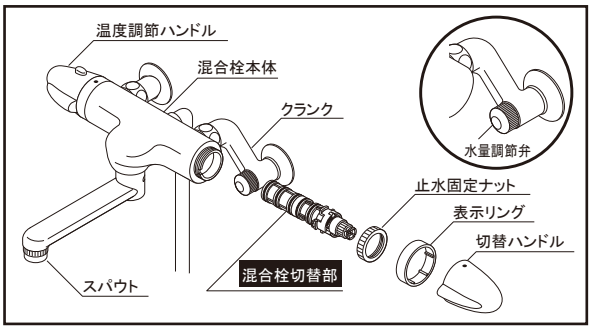
混合栓切替部

014-000 施工説明書

施工前に必ずお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

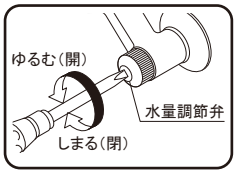
取付方法

＊取付けの際は、混合栓に付属の取扱説明書および施工説明書を合わせてご参照ください。



1.湯・水側の水量調節弁を閉めて止水します。

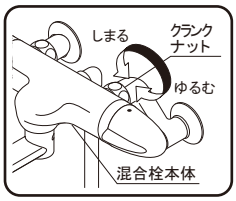
湯側・水側両方の水量調節弁を「マイナスドライバー」などで右方向にまわして止水します。
＊この時、水量調節弁が何周まわって止まったのかを覚えておいてください。
＊台付タイプの混合栓や水量調節弁のない壁付タイプの混合栓の場合は、止水栓または元栓を閉めて止水します。



⚠ 切替ハンドルを吐水状態にしても水栓から水が出ないかを確認してください。止水不良により水がもれ、家財に損害を与える恐れがあります。

2.混合栓本体をクランクから取外します。

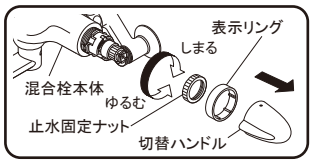
「レンチ」などでクランクナットをゆるめてクランクから混合栓本体とクランクパッキンを取外します。
＊台付タイプの混合栓の場合は、混合栓本体を取外す必要はありません。
＊取外したクランクパッキンは後で使用しますので、なくさないようにご注意ください。



⚠
- 混合栓本体は重量があります。落下などに十分注意して作業を行ってください。
- 混合栓本体を取外す際は、クランクが絶対にゆるまないようにしっかりと固定して作業を行ってください。

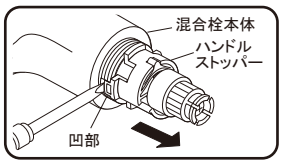
3.切替ハンドルと表示リングを取外します。

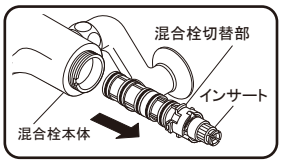
切替ハンドルと表示リングを抜き取り、止水固定ナットをゆるめて取外します。



4.混合栓切替部を取外します。

①混合栓本体の凹部に「マイナスドライバー」などを差し込み、ハンドルストッパーを外します。
②インサート部分を持って混合栓切替部を抜き取ります。

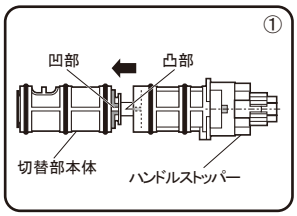


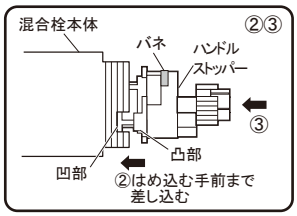


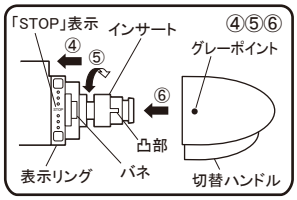
取付方法（つづき）

5.新しい混合栓切替部を取付けます

①イラストのように切替部本体の凹部にハンドルストッパー内側の凸部が合うようにはめ込みます。
②①の状態のまま、ハンドルストッパーの凸部を混合栓本体の凹部にはめ込む手前の状態まで、混合栓切替部を差し込みます。
③②の状態でインサート部分を持って切替部本体を混合栓本体にしっかりと押し込みます。次に、ハンドルストッパーの凸部が混合栓本体の凹部に合うようにハンドルストッパーをしっかりとはめ込みます。
④止水固定ナットを締付け、表示リングを「STOP」の表示がハンドルストッパーのバネの位置にくるようにはめ込みます。
⑤ハンドルストッパーのバネの位置とインサートの凸部の位置が合うようにインサートを持ってまわします。
⑥グレーポイントと表示リング「STOP」の表示が合うように切替ハンドルをはめ込みます。







⚠
- 混合栓切替部を交換する際は、混合栓本体をしっかりと支え、軍手・あて布などを使用して作業を行ってください。手などにケガをする恐れがあります。
- 止水固定ナットは十分に締付けてください。施工不良により混合栓切替部が正常に機能しない恐れがあります。
- 混合栓切替部は絶対に分解しないでください。故障の原因となります。

6.混合栓本体をクランクに取付けます。

①クランクに2.で取外したクランクパッキンをはめ込み、混合栓本体を取付けます。
②「レンチ」などでクランクナットを均等に締付けて混合栓本体を固定します。
＊台付タイプの混合栓の場合はこの作業は必要ありません。

⚠
- 混合栓本体は重量があります。落下などに十分注意して作業を行ってください。
- 混合栓本体を取付ける際は、クランクが絶対にゆるまないようにしっかりと固定して作業を行ってください。

7.水量調節弁を開きます。

①切替ハンドルを止水状態にしてから、湯側、水側両方の水量調節弁を「マイナスドライバー」などで1.でまわした回数だけ左方向にまわして開き、各部に水もれがないかを確認します。
＊水量調節弁のない壁付タイプの混合栓や台付タイプの混合栓の場合は止水栓または元栓を開いてください。
②切替ハンドルをまわし吐水の切替および止水ができるかを確認します。
＊正常に切替および止水ができない場合は混合栓切替部を施工しなおしてください。
＊水もれが発見された場合は水量調節弁を閉めて水もれする箇所を施工しなおしてください。

⚠ 水量調節弁を開く際は、切替ハンドルが止水状態であることを確認してください。止水不良により水がもれ、家財に損害を与える恐れがあります。

株式会社カクダイ
本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4
☎(06)6538-1124

1119GF
M-C0106B

無断転載・複写を禁ず